

東京都立 国立 英語 出題傾向と対策

出題傾向の分析

①はリスニングテストで、短い文や対話を聞き、内容についての問いに答えるものです。都立共通と同じものです。②は定番の会話文です。例年同様に科学の内容を含む文章で、光の波長についての内容です。15年度の戸山高校の④に酷似した内容でした。内容一致問題が今回も省略されているため、本校特有の表を埋める問題を手早く解き、③のエッセーに時間をかけたいところです。③は様々な問題のタイプを含むエッセーの問題です。前年の問題と傾向は変わっていないため、過去問を丁寧に解いて準備をしていれば、今回の入試でもしっかり点数が取れたと思われます。前年から出題されている英作文は自由度が高いものです。無理な表現で書こうとせず、簡単な構文を用いて、順序よく書いて失点を防ぐことが必要です。日本語で説明する問題が出題されています。句読点を含んで40字以内で書くという条件があります。英問英答では時制に注意しながら、主語と述語をしっかり対応させ、適切な文を書く能力が求められます。また本文の要約が今回も出題されているため、要点を素早く読み取り、単語を入れていく能力が求められます。内容一致問題では、5W1Hに注目して、場面ごとに丁寧に読み取り、素早く処理したいところです。

入試までに準備しておくこと

問われている知識は中学の範囲から幅広く出題されています。英作文は自由度が高いため、解きやすいものと考えられます。基本的な構文を普段から英語できちんと書いて実際に使えるように練習を積む必要があります。文法のテキストの英作文を時制と主語・述語に注意しながら解くのが有効です。また他県の過去問を使用して対策を組むのもよい方法といえるでしょう。

要約文と英問英答は近年出題されているので、念入りの対策が必要です。要約文では八王子東などの都立自校作成校の過去問なども含めて練習し慣れておく必要があります。また英問英答では、どんな問いでも主語と述語に注意して1文で書く練習が必要になります。ここでも時制に注意します。単語や文を書く問題が出題されても対応できるように英作文の力をつけておくとよいでしょう。

英語 分野別出題形式		22年度	21年度	20年度	
リスニング	記号	内容理解(含英問英答)	12	12	12
	記述	英問英答	8	8	8
		和問和答			
小計		20	20	20	
語彙	記号	綴り			
		語形変化			
	小計				
文法	記述	適語(句)選択			
		適語(句)補充		4	4
		語順整序			
	記号	部分英作			
		完全英作			
小計			4	4	
読解	記号	内容理解(含英問英答)	8	10	12
		内容一致	8	20	10
		段落・文整序			
		段落・文・節挿入			
		適語(句)・文選択	16	12	16
	小計		2	4	4
	記述	内容理解(指示語など)	14	8	6
		語形変化			4
		空所補充	18	8	12
		和文英訳			
		部分英作			
		英問英答	4	4	
		条件英作	10	10	12
和問和答					
小計		80	76	76	
合計点		100	100	100	

東京都立 国立 国語 出題傾向と対策

出題傾向の分析

例年通りの大問5題の構成で、総小問数は25題でした。

❶は漢字の読み取り問題です。近年出題されていなかった漢字の四字熟語の出題がありました。

❷は漢字の書き取り問題です。近年出題されていなかった漢字の四字熟語の出題がありました。また、「へいこう」など、同音異義語の出題もあります。

❸は小説文からの出題でした。心情を問う問題の他、類似の表現を本文中から抜き出す出題が特徴的です。小説の表現方法に関して、問題に慣れておく必要があるでしょう。

❹は論説文からの出題でした。傍線部の説明を記述形式で解答する問題や、傍線部の理由を記述形式で解答する問題など、読み取った内容を自分の言葉で適切に表現する力が問われています。

❺は、鑑賞文からの出題でした。短歌や俳句、古文の知識が必要とされます。また、文法や語句に関する出題もあり、幅広い知識が必要です。

国語 出題分野一覧表		22年度		21年度		20年度	
		記号	記述	記号	記述	記号	記述
漢字語彙	漢字の読み取り		10		10		10
	漢字の書き取り		10		10		10
	四字熟語・語彙						
文法・表現				4			
敬語							
資料を含む文章							
小説	心情を問う設問	8	14	8	6	8	12
	場面を問う設問	4		4	8	6	
	語句						
	本文との正誤問題						
論説	接続語の補充						
	傍線部の理由を問う設問	8					12
	傍線部の説明を問う設問		12	8	12	16	8
	段落関係を問う設問						
	語句						6
本文との正誤問題							
鑑賞文	接続語の補充						
	傍線部の理由を問う設問	4		4	6		
	傍線部の説明を問う設問	4	6	4			
	韻文の表現を問う設問		4				
	語句	4			4		
本文との正誤問題							
随筆	接続語の補充						
	傍線部の理由を問う設問						
	傍線部の説明を問う設問						
	段落関係を問う設問						
	語句						
本文との正誤問題							
作文			12		12		12
合計			100		100		100

入試までに準備しておくこと

漢字の書き取りは、同音異義語や訓読みの言葉を中心に、他の都立自校作成問題で頻出の四字熟語・三字熟語も学習しておくようにしましょう。

小説や論説では、同義表現を本文中から抜き出すことを求められることが多くなっています。先に設問を確認し、問われている同義表現を、読解しながら探すようにすると時間を節約することができるでしょう。また、長い文を速く正確に読み進められるよう、過去問や他の自校作成校の問題を解いて慣れていくようにしましょう。

古文や短歌、俳句の知識も必要とされます。基本的な技法や古文の表現に関して学習しておくといでしょう。

東京都立 国立 数学 出題傾向と対策

出題傾向の分析

出題構成は例年通りの大問 4 題，うち 1 題が独立小問集合形式で，総小問数は，15 題でした。

①は平方根の計算，放物線と直線，2 次方程式の解法，円周角，確率，作図の 6 題でした。どれも基本問題で，この 6 題で 31 点分に相当します。

②は相似を利用する問題で，長さ，面積，相似の証明でした。長さと面積を求める問題は標準レベルでした。相似の証明は，合同を経由して示すため，手のかかる問題でした。図形の一部が線対称であることに気がつくことが大切でした。

③は 1 次関数で，面積と面積比の問題でした。与えられた 3 本の直線の式すべてに文字が含まれているため，解きにくかったと思われます。特に，交点の座標を求める際，共通因数 x でくくり，両辺を多項式で割るという方法は経験がないと難しかったと思われます。

④は空間図形で，体積と動点の問題でした。動点は 3 つの点の動きに統一性があるわけではないので，文章を理解すること自体，苦勞します。特に最後の問題は，状態を理解することから始まる上に，記述問題であるため，正答率が相当低かったでしょう。

入試までに準備しておくこと

例年，問題傾向に大きな変化は見られませんが，昨年

に比べ難しくなりました。特に注意する点は，まず関数分野において，図形との融合問題になることが多いので，図形の性質を常に使う意識をもち，問題に取り組みましょう。また，他の都立と比較しても問題文が長いので，条件の読み落としのないようにすることは大切です。また証明や記述問題において，時間のかかる難問が出題されるケースもあるので，他の小問集合や典型問題を確実に正解する計算力と経験と判断が必要です。その経験は，都立自校作成校の過去問題を演習することはもちろんのこと，国私立高校を参考にしたかのような問題も目につくので，可能な限り，それらの問題も解いておきましょう。

領域	内容	配点		
		22年度	21年度	20年度
数と式	数の性質・表現		6	6
	数の計算			
	式の計算			
	平方根	5	6	6
	多項式の乗法			
	因数分解			
	小計	5	12	12
方程式	1次方程式			
	連立方程式		6	6
	2次方程式	5		
	方程式の応用			
	不等式・不等式の応用			
	小計	5	6	6
関数	比例と反比例			
	1次関数			
	2次関数			9
	変化の割合・変域			
関数と図形	直線と曲線	5	4	
	関数と図形	23	20	14
	小計	28	24	23
三角形・四角形	角度			
	作図	6	6	8
	合同			9
	相似	9	9	16
	三角形			7
	平行四辺形			
円と平面図形	円周角の定理	5	6	7
	円と弧・弦・接線			
	線分，線分比	7	8	
	面積，面積比	7		
	点の移動と図形			
空間図形	線分，線分比		9	
	面積，面積比	7	7	
	体積，体積比	7	7	6
	点の移動と図形	9		
	回転体・球			
	小計	57	52	53
確率	場合の数			
	確率	5	6	6
総合問題	数と式			
	図形			
	その他			
	小計	5	6	6
	合計	100	100	100